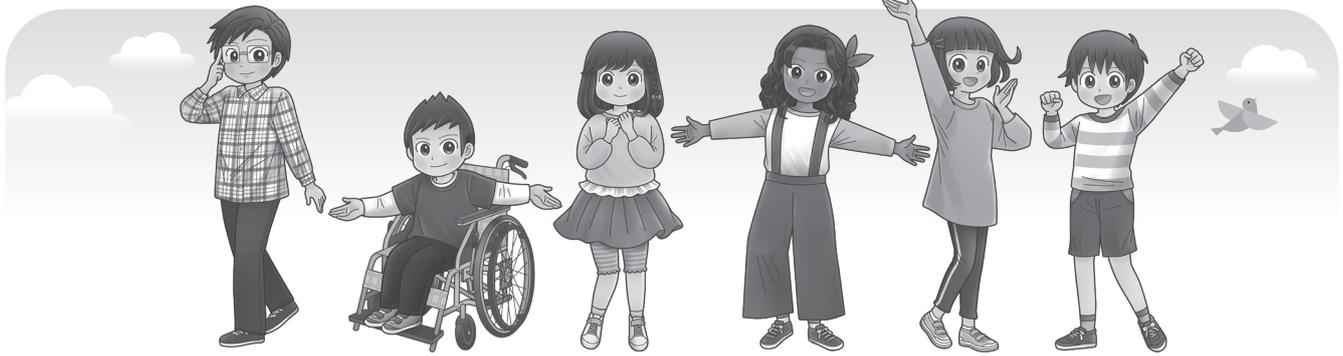


編修趣意書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学校	教科	種目	学年
104-155	小学校	体育	保健	5・6
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
2 東書	保健 506	新編 新しいほけん 5・6		

1. 編修の基本方針



すべての子どもが輝く未来へ みんながつながる保健の教科書

子どもたちが、生涯を通じて健康・安全で幸福に生きることは、私たちの願いです。そのためには、健康・安全について「何を知っているか」だけではなく、「知っていることを使ってどのように社会と関わり、よりよい人生を送るか」という視点から、知識・技能、思考力・判断力・表現力、学びに向かう力・人間性などを、総合的に育てていくことが求められています。また、健康や安全への課題を捉えるには、保健の見方・考え方を働かせ、「疾病等のリスクの軽減」「生活の質の向上」「健康を支える環境づくり」に関連づけて考えることが重要であり、その際、自分や他者の多様性を理解し、多様な他者と協働して解決していくことが必要となります。

本教科書は、教育基本法の理念を踏まえ、保健における主体的・対話的で深い学びを実現し、すべての子どもが輝く未来へつながる資質・能力の育成を目指して編集しました。



特色 **1**

わたしができる 健康への4ステップ

健康についての課題を
「自分ごと」として考えられる
教科書

特色 **2**

オールインワンで 保健の授業をサポート

ノートもデジタルも
この教科書1冊で

特色 **3**

もっと知ろう 「心」と「体」

命や健康を守るための
知識とスキルが身につく
教科書

わたしができる健康への4ステップ

健康についての課題を「自分ごと」として考えられる教科書

児童が健康についての課題を「自分ごと」として捉え、主体的に学習することができるように、各項を「ステップ1」～「ステップ4」の学習活動で構成しました。

ステップ

1 気づく・見つける

自分の健康課題を見つける活動

授業の導入となる簡単な問いかけ・活動です。児童が自分の健康課題について気づいたり、見つけたることができます。

(▼p.31)



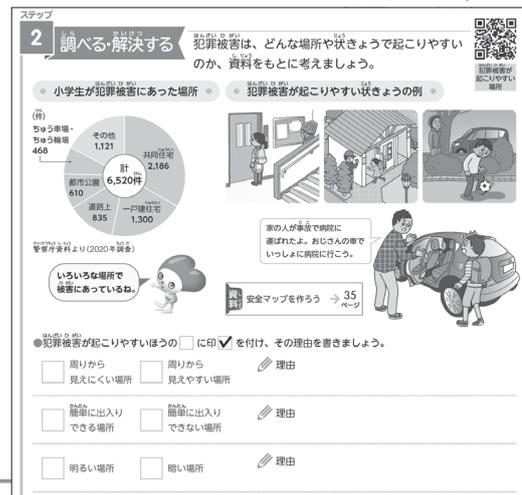
ステップ

2 調べる・解決する

課題の解決に向けて取り組む活動

「学習の課題」を受けて、その課題を解決するために児童が主体的に情報を収集し、調べたり、話し合ったりする活動です。

(▼p.32)



ステップ

3 深める・伝える

習得した知識をもとに考え、筋道を立てて表現する活動

ここまで学習したことをもとに、さらに考えたり、意見やその理由を相互に表現し合ったりする活動です。主体的・対話的で深い学びの中心となります。

(◀p.33)



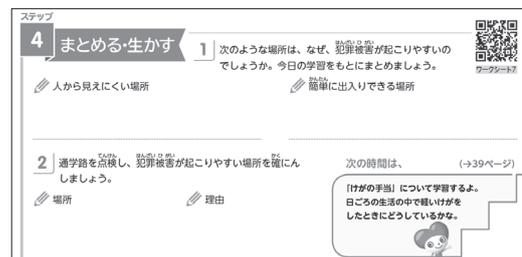
ステップ

4 まとめる・生かす

学習したことをまとめ、自分の生活やこれからの学習に生かすための活動

授業の最後で、学習したことをまとめるとともに、生活を見直す、もっと調べたいことを考えるなど、児童自身の生活に生かすための活動です。

(▼p.34)



特色 2 オールインワンで保健の授業をサポート

ノートもデジタルもこの教科書 1 冊で

1 記入スペースを豊富に設けました。

ステップ 1～ステップ 4 には、思考・判断したことを表現するスペースを設けました。教科書をワークシートのように活用することができます。さらに、各ステップ 4 と各章末にはワークシートの QR コンテンツ*用意しています。(▼p.25)



*二次元コードから Web に接続するデジタルコンテンツ

2 児童の学びをサポートする QR コンテンツを大幅に充実させました。

動画やアニメーション、シミュレーションやまとめのワークシートなど、紙面を補完する QR コンテンツが充実。学びを深め、広げるコンテンツが充実しています。

実習

この QR コンテンツでは、実習の方法を動画で確認することができます。

体を動かして心を静めよう。

●こきゅう法

おなかをふくらむように息をすい、おなかへこむように息をはくこきゅうの仕方、腹式こきゅうといえます。腹式こきゅうには、きん張や興奮を静めて、心と体をリラックスさせる効果があります。

方法

- 「1、2、3」で、鼻から息をすいこむ。おなかをふくらむようにする。
- 「4」で、息を止める。
- 「5、6、7、8、9、10」で、口から息をはき出す。おなかへこむようにはく。

(◀p.16)

特色 3 もっと知ろう「心」と「体」

命や健康を守るための知識とスキルが身につく教科書

1 今日的な健康情報を扱う「資料」のページを充実させました。

学習内容に関連した情報を、「資料」として各項目に掲載しました。児童の命や健康を守るための情報を豊富に掲載しています。(▼p.53)

新型コロナウイルス感染症 (COVID-19)

新型コロナウイルス感染症は、新型コロナウイルスという病原体が空気や手を介して体内に入ることによって起こる感染症です。発熱、せき、肺炎、味覚・嗅覚・きゅう覚障がいなど、さまざまな症状が報告されています。

新型コロナウイルス感染症は、2019年の終わりに発生し、あっという間に世界中に広まりました。日本でも全国に感染が広まり、緊急事態宣言が出され、学校が休校になったり、人が集まる施設が休業になったり、人々の移動が制限されたりしました。

新型コロナウイルス感染症は、それまでいことも流行したことがなかったため、人はそのウイルスに対する免疫力が低く、大流行してしまっています。

感染が広がる中、新型コロナウイルスに効果のあるワクチンが開発され、予防接種が進められました。

緊急事態 13 都府に拡大

緊急事態宣言は、感染最多の 500 万人

読売新聞 2021年8月20日

臨時休園のお知らせを 取り付ける動物園 (大阪府大阪市)

新型コロナウイルス感染症のように、新しいウイルスによる感染症の流行が、これからは多くなるかもしれません。そのようなときには、この冊子で学習したことに加え、その感染症について正しい情報を入手し、考え、行動するようによいでしょう。つわりやインターネットの情報の中には、正しいものもあるので注意しましょう。

感染した人を知るのではなく、その人の立場に立って考え、思いやりの気持ちを持つことが大切です。

新型コロナウイルス (約 36,000 倍)

※病原体は分りやすくするために着色してあります。

資料

2 「スキルマーク」を新設しました。

命や健康を守るために児童に身につけてほしいスキルについて扱う箇所には、参照しやすいように「スキルマーク」を付しました。(▼p.52)

資料! マスクのつけ方

マスクは、せきやくしゃみのしぶきが周囲に飛び散るのを防ぐので、インフルエンザや新型コロナウイルス感染症などの感染拡大を予防する効果があります。

つけ方

- 手を洗う。
- 鼻の位置に合わせて、ゴムを耳にかける。(ワイヤーが入っている物は、鼻の形に合わせて)
- あごの下までをばい、すき間がないようにする。

注意事項

- マスクをつけた後は、マスクにさわらない。
- 口や鼻を出さない。
- マスクの両端にかかわらず、洗っていない手で口、鼻、目にさわらない。

外し方

- マスクにはさわらず、ひも部分を持って外す。
- 手を洗う。

マスクがないとき

人から 1~2m はなれる。口をハンカチやそででおさえる。

運動をするときや、気流、湿度が高いときは、呼吸が苦しくなったり、熱中症になったりする危険があるので、マスクを外しましょう。また、病気が多いなどの理由で、マスクをつけられないがいることを知っておきましょう。

スキル

2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
巻頭	<ul style="list-style-type: none"> 健康や安全の大切さや、学び方について触れ、健やかな身体を養うことの大切さについて理解できるようにしました。(第1号) 「保健の学習」「この教科書の使い方」では、主体的に思考・判断・表現したり、仲間と話し合ったりしながら課題を解決していく学習について説明し、自主及び自律の精神を養うとともに、協力を重んずる態度を養うことができるようにしました。(第2号、第3号) 	<ul style="list-style-type: none"> 目次 2~3
各章	<ul style="list-style-type: none"> 章とびらでは、その章の目的や学習内容が端的に分かるようにするとともに、「つなげよう」で道徳など他の教科との関連を示し、幅広い知識と教養を身につけ、道徳心を培うことができるようにしました。(第1号) 本文や「資料」では、健康についての知識を端的に記載し、幅広い知識と教養を身につけ、健やかな身体を養うことができるようにしました。(第1号) 主体的に思考・判断・表現したり、仲間と話し合ったりしながら課題を解決していく学習活動を随所に設け、自主及び自律の精神を養うとともに、協力を重んずる態度を養うことができるようにしました。(第2号、第3号) 章とびら以外でも他教科との関連を随所に示し、幅広い知識と教養を身につけることができるようにしました。(第1号) 5年「心の健康」では、人との関わりや、不安や悩みなどへの対処について考える中で、道徳心を培ったり、個人の価値を尊重したり、自他の生命を尊重したりする態度を養うことができるようにしました。(第1、2、4号) 5年「けがの防止」では、けがを防ぎ、命を守るためには地域の環境をどのように安全に整えたらよいかを考える中で、社会の形成に参画する態度、環境の保全に寄与する態度、郷土を愛する態度を養うことができるようにしました。(第3、4、5号) イラストでは、男女の数や役割に配慮するとともに、国籍、年齢、障がいの有無など多様な人々を表現し、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことができるようにしました。また、イラストで外国にルーツのある子どもや外国から来た人を掲載し、他国を尊重する態度を養うことができるようにしました。(第3号、第5号) 「地域の健康や安全を守る活動に取り組む人々」では、地域では多くの人が健康や安全を守る仕事をしていることを取り上げ、勤労を重んずる態度を養うことができるようにしました。(第2号) 	<ul style="list-style-type: none"> 4、20、44 5~19、21~43、45~76 5~19、21~43、45~76 33、37、57、63、75など 4~19 20~43 目次、7、8、21、26、77など 76
巻末	<ul style="list-style-type: none"> 「どんな自分になれたかな」では、健康や安全に関する資質・能力に触れ、幅広い知識を身に付け、健やかな身体を養ったり、生活との関連を重視する態度を養ったりすることができるようにしました。(第1、2号) 	<ul style="list-style-type: none"> 77

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

すべての児童が使いやすく分かりやすい紙面の配慮と工夫

①特別支援教育への配慮

- 特別支援教育の研究者に**専門的見地からの校閲**を受け、できるだけ多くの児童にとって読みやすく使いやすい教科書となるよう、配慮をしました。**特別支援教育に有効な機能が充実した「学習者用デジタル教科書」**を全書目で発行予定です。
- 文節改行**(文節の切れ目で改行)を基本とし、文章を読み取りやすくすることで、文章の読解の段階でつまずくことがないように配慮しました。
- 「**学習の進め方**」を各項の冒頭で**毎回示し**、**授業の見通し**をもって学習ができるようにしました。

②人権上の配慮

- 教科書に登場する人物の人数や役割には、**性別による極端な偏りがないように配慮**しました。
- 成長の個人差や共生の視点を強調し**、**多様性や個人の価値の尊重に配慮**しました。

③ユニバーサルデザインへの取り組み

- 書体は、**独自に新開発したUD教科書体**を採用しました。このUD教科書体は、**従来の教科書体に比べてさらに太く、視認性をいっそう向上させる**など、ユニバーサルデザインの考え方にに基づき、より多くの人に見やすく読み間違えにくいデザインの文字となっています。
- 色覚の多様性に配慮し、**カラーユニバーサルデザイン**の観点から、配色およびデザインについて、**全ページにわたって専門家による検証**を行いました。弱視の児童のために、「拡大教科書」および「学習者用デジタル教科書」を発行予定です。

④造本上の工夫

- **書き込みがしやすく、かつ、軽量で丈夫な用紙を開発**し、採用しました。教科書をワークシート的に活用できるようにするとともに、重量による身体的負担の軽減に配慮しました。
- 児童が長期にわたって使用することをふまえ、**強力な接着剤を用いたPURあじろ綴じ**で製本し、堅牢性を保ちつつ紙面をしっかりと開くことができるようにしました。
- 環境に配慮して、**再生紙、植物油インキ**を使用しました。また、印刷業団体が定めた環境配慮基準を満たした「**グリーンプリンティング認定工場**」で印刷・製造を行いました。

2 今日的課題への取り組み

⑤ご指導経験の浅い先生方への配慮

- 各項をステップ1～ステップ4で構成し、**授業の流れを分かりやすく示**しました。
- 主発問と児童の思考を促す補助発問を効果的に配置し、**スモールステップ**で指導できるようにしました。
- 「**学習の課題**」と授業のまとめ（「**ステップ4 まとめる・生かす**」）を各項に設定することで、各項目で習得する知識が明確になるようにしました。



⑥評価への取り組み

- 児童が**思考・判断したことを表現する記入欄**や、**学習をまとめる記入欄**など、先生方が評価をするための手がかりとなる箇所を多く盛り込みました。



⑦カリキュラム・マネジメントへの取り組み

- 養護教諭や学校医、警察官などが紙面で登場する場面を随所に設け、**学校内外の専門性を有する人材の有効活用**に配慮しました。(p.16、22、50、76など)
- 章とびらや、本文ページで**他教科との関連**を随所に示し、**教科横断的な指導**ができるように配慮しました。(p.4、20、33、37、57、63、75など)



3 そのほかの取り組み

⑧教育のICT化への取り組み

- 動画やシミュレーションなど、**QRコンテンツ**を豊富に用意しました。タブレット端末やパソコンなど、端末を問わずに簡単に使用することができます。※QRコンテンツを使用する際の通信費は自己負担となります。
- 情報教育の研究者や実践者に専門的見地からの指導や校閲を受け、コンピュータを活用して、教科の学びを効果的に高めることができるようにしました。
- 一人1台端末環境の実現に伴い、二次元コードからリンクする特設コンテンツとして「**コンピュータを学習に生かそう**」を設けました。自律した端末の使い手となるよう、さまざまな場面での活用を促すとともに、情報モラルを含めた留意点についても楽しく学ぶことができます。(p.2)

⑨SDGs

- 持続可能な開発目標「SDGs」について、映像などをもとに学ぶことができる特設サイトとして「SDGs わたしたちがつくる未来」を設けました。また、各章のとびらには学習内容と関係するSDGsの目標を記載しました。(p.4、20、44)

⑩感染症対策

- 教科書冒頭に、感染症の予防について注意喚起を行う「**うつらない うつさない ために**」を設けました。二次元コードから、基本的な感染症予防についてまとめたサイトを閲覧することができます。また、「**感染症の予防**」の項では、感染症に関する多くの資料を掲載しました。(p.1、49～54)

編修趣意書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

※受理番号	学校	教科	種目	学年
104-155	小学校	体育	保健	5・6
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
2 東書	保健 506	新編 新しいほけん 5・6		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

1 主体的・対話的で深い学びを実現させる教科書

「主体的・対話的で深い学び」を保健の授業で実現するために、授業の流れを分かりやすく、紙面化しました。各ステップに記入スペースを用意し、思考・判断したことを表現できるようにしました。



2

QRコンテンツ*の圧倒的充実

*二次元コードから Web に接続するデジタルコンテンツ

学びを深め、広げることができる QR コンテンツを質量ともに充実させました。

紙面の随所に二次元コードを配置しました。二次元コードから直接リンクして QR コンテンツを起動させることができるようにしました。



● QR コンテンツ一覧

タイトル	ページ
動画ほか うつらない うつさない ために	1
ウェブサイト タブレットやコンピュータの使い方(使い方・注意点)	2
動画 タブレットやコンピュータの使い方(情報のさがし方)	2
ウェブサイト SDGs わたしたちがつくるみらい	4、20、44
アニメーション 5年生ならどうするかな	6
動画 心ばく数の変化	9
動画 実習の方法(こきゅう法・軽い運動)	16
アニメーション こんなときどう答える？	17
動画 チャイルドラインの人の話	18
ウェブサイト #stand by youプロジェクト	19
シミュレーション 危険な場面をさがそう	21
アニメーション 事故の原因を考えよう	23
シミュレーション 学校内の危険をさがそう	25
アニメーション 交通事故の原因と対策を考えよう	28
動画 環境整備の例	29
動画 自転車安全利用五則	30
動画 自動車の特性	30
動画・シミュレーション 犯罪被害が起こりやすい場所	32
アニメーション インターネットトラブル事例	34
動画 地震による災害	36
動画 さまざまな自然災害と備え	38
動画 大雨のけいはいレベル	38

タイトル	ページ
動画 実習の方法(けがの手当)	41
動画 もう暑と熱中症	42
ウェブサイト 熱中症けいはいアラート	42
動画 AEDの使い方	43
思考ツール かぜをひく要因	46
動画 ひまつの飛び方	50
動画 手を通した感染	50
図鑑 感染症の種類	50
動画 マスクのつけ方	52
動画 手の洗い方	52
動画 新しい感染症	53
動画 エイズ	54
図鑑 主な生活習慣病	56
アニメーション 血管の変化	57
動画 歯のみがき方	58
動画 がんの発生の仕組み	60
動画 喫煙の害(実験)	62
動画 受動喫煙(実験)	63
アニメーション 喫煙・飲酒のロールプレイング	68
アニメーション 薬物乱用の悪じゅんかん	71
動画 医薬品の使い方	72
動画 地域の保健活動	74
動画 小学校の保健の学習を終えたみなさんへ	77

上記のほか各項、各章末のまとめのワークシート、実習シート、メッセージカードなどを収録しています。(合計21点)



(▲p.30 自転車安全利用五則)

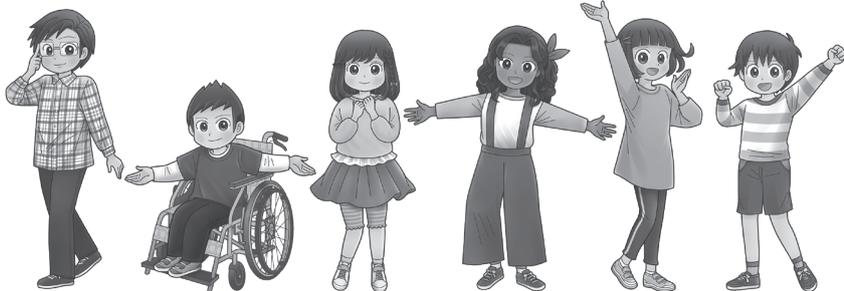


(▲p.50 ひまつの飛び方)

3

だれ一人取り残さない すべての子どもが輝く未来へつながる

多様性を認め合い、共生社会を目指す子どもを育むため、全編にわたり写真、イラスト、記述に配慮しました。



(▲多様なキャラクター)

未来を担う子どもたちが、心や体の健康を守るために知っておいてほしい情報を「資料」として豊富に掲載しました。



SDGsとは **この章に関するSDGsの主な目標**

3 持続可能な社会を築く **11 住み続けられるまちづくりを** **13 気候変動に具体的な対策を**

(▲p.20 学習内容と関係するSDGsの目標)

だれもが安心して生活できる社会

変えたいためのマープ

マナーマーク、ヘルプマーク、ハート・プラスマーク、耳マーク、観察マーク

目次は、特別な訓練を受けて、目が見えない人や見えにくい人が安全に歩けるように制作しています。

(▲p.77 だれもが安心して生活できる社会)

タイトル	ページ
人との関わり	8
きん張をコントロールする方法	12
自分の気持ちや考えを上手に伝えよう	17
不安やなやみがあるときの相談窓口	18
なやんでいるあなたへ	18
ユニバーサルデザインをさがそう	26
自転車安全利用五則	30
自動車の特性	30
インターネットによる犯罪被害	34
安全マップを作ろう	35
さまざまな自然災害	38
熱中症の予防と手当	42
歯のけが	42
胸骨圧迫とAED	43
体のていこう力	48
マスクのつけ方	52
予防接種	53
インフルエンザ	53
新型コロナウイルス感染症	53
結核	54
エイズ	54
がんについて知ろう	60
たばこの主な有害物質	64
さまざまな依存症	64
喫煙や飲酒をさそわれたら	68
医薬品の使い方	72
地域の健康や安全を守る活動に取り組む人々	76
だれもが安心して生活できる社会	77

自分の気持ちや考えを上手に伝えよう

自分の気持ちが伝わる言い方、相手の気持ちを考える言い方

(▲p.17 コミュニケーションスキル)

自転車安全利用五則

1 自転車は歩行者優先、歩道は歩行者優先、歩道は歩行者優先、歩道は歩行者優先

(▲p.30 自転車安全利用五則)

「スキルマーク」を新設し、心や体の健康や安全を守るために身につけてほしいスキルを掲載しました。



インターネットによる犯罪被害

コミュニケーションサイトでの危険な出会い、個人情報の流出

喫煙や飲酒をさそわれたら

少年の確信、付き合いや友人からのさそいなどがきっかけとなって、喫煙や飲酒を始めてしまうことがあります。

(▲p.34 ネット犯罪への注意喚起)

(▲p.68 喫煙・飲酒の断わり方)

観点別特色の一覧

<p>教育基本法</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●健康や安全についての、幅広い知識と教養を身につけ、健やかな身体を養うことができるようにするために、個人の価値の尊重や自主自律の精神、協力を重んずる態度を育みながら学習することができるように紙面を編集しました。(全体)
<p>学習指導要領</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●小学校学習指導要領(総則)の基本方針である授業改善の推進を受けて、資質・能力の育成のための優れた研究や実践の成果をもとに紙面を編集しました。(全体) ●小学校学習指導要領(体育科)に示された目標に則り、保健の見方・考え方を働かせ、課題を見つけ、その解決に向けた学習過程を通して、生涯にわたって心身の健康を保持増進するための資質・能力を育成することができるようにしました。(全体)
<p>内容・系統</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●保健の内容について系統性のある指導ができるよう、㊦マークを随所に設け、小学校の保健の他学年の内容と関連を図りました。(p.6、46、51、57など) ●運動に関する内容を随所に積極的に取り上げ、運動領域との関連を図りました。(p.8、12、14、18～19、57など)
<p>組織・配列・分量</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●学習指導要領の配列に合わせ、各学年の内容を配列しました。 ●各学年とも、学習指導要領に示された内容の所定配当時数内での指導が可能なように構成しました。 ●基本的に1項目を1単位時間4ページで構成し、見通しをもって学習できるように配慮しました。例外的に2単位時間扱いとなる項については、項タイトルの近くに「(全2時間)」と明示し、1単位時間の区切りとなる箇所も明示しました。(p.21、23、55、57)
<p>知識・技能の習得への 取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●基礎的・基本的な知識は本文で簡潔にまとめました。本文のなかで特に大切な部分はゴチック体としました。 ●各項の「ステップ4」では、学習した内容をまとめる活動を取り入れました。 ●章末にQRコンテンツで「学習をふり返ろう(ワークシート)」を収載し、学習事項を自己チェックすることにより、学習内容を整理できるようにしました。 ●保健の「技能」に関する「実習」を設け、技能の習得を図るようにしました。(p.16、41)
<p>思考力・判断力・表現力の 育成への取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●各項に「ステップ1」～「ステップ4」の活動を設定し、活動を通じて、思考力・判断力・表現力を育成することができるようにしました。 ●判型をA4判とし、児童が思考・判断・表現したことを書くための記入スペースを豊富かつ適切な箇所に設けました。 ●児童の生活場面を想起させる写真やイラストをダイナミックに配置し、児童が身近な例から健康課題を見つけることができるようにしました。
<p>学びに向かう力、 人間性等への配慮</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●各項の2ページ目の冒頭で「学習の課題」を明示しました。「ステップ1」の活動を行った後で、「学習の課題」を確認することで、「学習の課題」をより自分のこととして捉えられるようにしました。 ●「ステップ4」では、学習を踏まえて自分の生活を見直す活動を設け、学習したことを実生活で生かせるようにしました。また、ガイドキャラによる次の時間の学習に向けた投げかけの言葉を付し、次の保健の学習に意欲的に取り組むことができるようにしました。 ●章末のQRコンテンツ「学習をふり返ろう」では、その章の学習を終えて、もっと知りたいと思ったことや、調べたいと思ったことを書くことができるようにしました。
<p>主体的・対話的で 深い学びへの取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●主体的・対話的で深い学びとなるよう各項を「ステップ1」～「ステップ4」で構成し、それぞれの「ステップ」の活動を工夫しました。 ●児童の気づきを大切に「ステップ1」で問題意識を高めた後で、「学習の課題」を提示することで、より主体的に学習に取り組むことができるようにしました。 ●それまで学習したことをもとに行う「ステップ3」は、「説明する」「話し合う」「他の人の意見を聞いて、考えたことや分かったことを書く」など、主体的・対話的で深い学びの中心となる活動としました。
<p>表記・表現</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●学年別配当漢字に配慮しながら、熟語ではできるだけ交ぜ書きをなくす配慮から、学習当該学年の1学年上の漢字をふりがなつきで示すようにしました。また、ふりがなは初出だけでなく、必要な漢字すべてにつけました。 ●さし絵は学習事項を的確に表現するとともに、児童にとって親しみやすいものとししました。 ●さし絵や写真では、男女の比率やそれぞれの役割に偏りのないよう配慮し、固定的なイメージで性の区別をしないようにしました。
<p>ユニバーサルデザインへの 取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●カラーユニバーサルデザインの視点から、全ページの配色や色に関わる表現を点検するとともに、紙面の色数を限定し、だれも見やすく、落ち着いたレイアウトとしました。(全体) ●本文などの書体、大きさは、児童の発達段階に配慮して選定しました。すべての文字は、読みやすさに優れたユニバーサルデザイン(UD)フォントを用いました。また、本文では新開発の「UD教科書体」を採用しました。(全体)

今日的な課題への対応

●多くの今日的な課題に対応した内容を取り上げました。

【多様性・共生社会】社会の多様性に対応したキャラクター設定とし、多様な子どもたちが共に学びに向かう姿を随所で表現しました。また、資料「ユニバーサルデザインをさがそう」「だれもが安心して生活できる社会」を掲載しました。	目次、26、77など
【コミュニケーションスキル】資料「自分の気持ちや考えを上手に伝えよう」を掲載しました。	17
【心の健康・いじめ】資料「不安やなやみがあるときの相談窓口」「なやんでいるあなたへ」を掲載しました。	18-19
【自転車事故】資料「自転車安全利用五則」「自動車の特性」を掲載しました。	30
【防犯】児童が自ら犯罪から身を守る方法を考えることができるように「犯罪被害の防止」を1単位時間で扱いました。	31-34
【ネット犯罪】資料「インターネットによる犯罪被害」を掲載しました。	34
【防災】「自然災害によるけがの防止(発展)」は他の項と同様に課題解決的に学べるように構成しました。さらに、資料「さまざまな自然災害」を掲載しました。	36-38
【熱中症】資料「熱中症の予防と手当」を掲載し、さらに詳しく学べるQRコンテンツを収載しました。	42
【AED】資料「胸骨圧迫とAED」を掲載し、動画で方法を学べるQRコンテンツを収載しました。	43
【感染症予防】感染症予防のため、教科書冒頭に「うつらない うつさない ために」を設けました。また、「感染症の予防」の項には新型コロナウイルス感染症も加え、QRコンテンツで感染症や感染経路について丁寧に説明するとともに、項末に多くの資料を掲載しました。	1、49-54
【エイズ】資料「エイズ」を掲載し、エイズを正しく理解し、感染した人を差別することなく、共に生きる社会を目指すことの大切さなどを扱いました。	54
【がん】資料「がんについて知ろう」、QRコンテンツ「がんの発生の仕組み」を掲載し、がんの原因や治療などについて基本的な正しい知識を身につけることができるようにしました。	60
【喫煙・飲酒】資料「喫煙や飲酒をさそわれたら」を掲載し、誘われたときの断り方をロールプレイングを通して考えることができるようにしました。同じ場面をアニメーションで表現したQRコンテンツも収載しました。	68
【薬の適正使用】資料「医薬品の使い方」を掲載しました。	72
【コンピュータと健康】教科書冒頭のQRコンテンツで「コンピュータを学習に生かそう」を収載しました。また、資料「さまざまな依存症」で、ゲームやインターネットの依存症について触れました。	2、64
【キャリア教育】資料「地域の健康や安全を守る活動に取り組む人々」を掲載しました。	76
【オリンピック・パラリンピック教育】共生の視点を全編にわたって強調しました。また、資料「きん張をコントロールする方法」「なやんでいるあなたへ」では、オリンピック、パラリンピックの経験や実践を紹介しました。	目次、12、18、75など

2. 対照表

配当時数計：16

学年	図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当時数
5年	1章 心の健康	(1) ア(ア)、(イ)、(ウ)、イ	4~19	全3時間
	1 心の発達	(1) ア(ア)、イ	5~8	1
	2 心と体のつながり	(1) ア(イ)、イ	9~12	1
	3 不安やなやみがあるとき	(1) ア(ウ)、イ	13~17	1
5年	2章 けがの防止	(2) ア(ア)、(イ)、イ	20~43	全5時間
	1 事故やけがの原因と防止	(2) ア(ア)、イ	21~26	2
	2 交通事故の防止	(2) ア(ア)、イ	27~30	1
	3 犯罪被害の防止	(2) ア(ア)、イ	31~35	1
	・自然災害によるけがの防止(発展)	((2) ア(ア)、イ)	36~38	-
4 けがの手当	(2) ア(イ)、イ	39~42	1	
6年	3章 病気の予防	(3) ア(ア)、(イ)、(ウ)、(イ)、(オ)、イ	44~76	全8時間
	1 病気の起こり方	(3) ア(ア)、イ	45~48	1
	2 感染症の予防	(3) ア(イ)、イ	49~54	1
	3 生活習慣病の予防	(3) ア(ウ)、イ	55~60	2
	4 喫煙の害と健康	(3) ア(イ)、イ	61~64	1
	5 飲酒の害と健康	(3) ア(イ)、イ	65~68	1
	6 薬物乱用の害と健康	(3) ア(イ)、イ	69~72	1
7 地域の保健活動	(3) ア(オ)、イ	73~76	1	

編修趣意書

(発展的な学習内容の記述)

※受理番号	学校	教科	種目	学年
104-155	小学校	体育	保健	5・6
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
2 東書	保健 506	新編 新しいほけん 5・6		

ページ	記述	類型	関連する学習指導要領の内容や 内容の取扱いに示す事項	ページ数
12	きん張をコントロールする方法	2	G 保健 (1) 心の健康 ア(イ)	0.75
30	自転車安全利用五則	2	G 保健 (2) けがの防止 ア(ア)	0.5
34	インターネットによる犯罪被害	2	G 保健 (2) けがの防止 ア(ア)	0.75
35	防災安全マップを作るときの視点	2	G 保健 (2) けがの防止 ア(ア)	0.25
36-37	自然災害によるけがの防止	2	G 保健 (2) けがの防止 ア(ア)	2
38	さまざまな自然災害	2	G 保健 (2) けがの防止 ア(ア)	1
42	熱中症の予防と手当	2	G 保健 (2) けがの防止 ア(イ)	0.5
42	歯のけが	2	G 保健 (2) けがの防止 ア(イ)	0.25
43	胸骨圧迫とAED	2	G 保健 (2) けがの防止 ア(イ)	1
53	インフルエンザ	2	G 保健 (3) 病気の予防 ア(イ)	0.2
53	新型コロナウイルス感染症(COVID-19)	2	G 保健 (3) 病気の予防 ア(イ)	0.6
60	がんについて知ろう	2	G 保健 (3) 病気の予防 ア(ウ)	0.75
64	たばこの主な有害物質	2	G 保健 (3) 病気の予防 ア(エ)	0.5
64	さまざまな依存症	2	G 保健 (3) 病気の予防 ア(エ)	0.5
72	医薬品の使い方	2	G 保健 (3) 病気の予防 ア(エ)	0.75
77	だれもが安心して生活できる社会	2	G 保健 (3) 病気の予防 ア(オ)	0.75
合計				11.05

「類型」欄には、申請図書における発展的な学習内容の記述について、以下の分類により該当する記号を記入する。

- ・ 学習指導要領上、隣接した後の学年等の学習内容（隣接した学年等以外の学習内容であっても、当該学年等の学習内容と直接的な系統性があるものを含む）とされている内容……1
- ・ 学習指導要領上、どの学年等でも扱うこととされていない内容……2